



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月9日

上場会社名 AMGホールディングス株式会社 上場取引所 東・名
コード番号 8891 URL <https://www.amg-hd.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)長谷川 克彦
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)大脇 貴志 (TEL)052(212)5190
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	6,618	45.1	331	△8.1	321	△14.6	186	△24.8
2023年3月期第1四半期	4,560	26.0	360	50.1	376	58.4	247	103.2

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 194百万円(△21.7%) 2023年3月期第1四半期 247百万円(100.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	64.56	—
2023年3月期第1四半期	86.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	29,900	9,542	31.7
2023年3月期	28,927	9,478	32.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 9,476百万円 2023年3月期 9,411百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	27.50	—	27.50	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2023年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,600	52.7	650	17.1	600	7.1	390	8.7	135.61
通期	30,000	31.5	1,600	11.5	1,500	8.1	950	△67.8	330.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	2,906,048株	2023年3月期	2,906,048株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	24,865株	2023年3月期	24,826株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	2,881,187株	2023年3月期1Q	2,873,709株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調が続いております。その一方で、世界的な資源や原材料価格の高騰や景気後退に対する懸念は依然として続いており、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

不動産業界においては、コロナ禍以降も安定した住宅需要があり、不動産市場は堅調に推移しているものの、建築費の高騰や金利上昇の可能性が今後の住宅需要に対する懸念材料となっております。また、建設業界においては、建築資材や建設労務費の値上がりは留まることがなく、原価上昇分を請負金額に転嫁することが困難な状況が続いております。

このような状況の中、当社の当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高6,618百万円（前年同期比45.1%増）、営業利益331百万円（前年同期比8.1%減）、経常利益321百万円（前年同期比14.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益186百万円（前年同期比24.8%減）となりました。

② 事業の種類別セグメントの業績概要

(分譲マンション事業)

分譲マンション事業では、当第1四半期連結累計期間において、新たに3棟101戸の新築マンション（モアグレース西岐阜駅ザ・カーサ、モアグレース一宮新生、モアグレース新木曾川レジデンス）の分譲を開始し、前期から販売開始した物件及び中古物件1戸を併せ60戸（前期は17戸）を成約しております。

引渡しにつきましては、新規完成物件2棟、完成在庫を併せ36戸（前期は47戸）を行っております。

以上の結果、売上高1,429百万円（前年同期比21.3%減）、セグメント利益（営業利益）は、89百万円（前年同期比66.5%減）となりました。

(注文建築事業)

注文建築事業では、当第1四半期連結累計期間において、(株)アーキッシュギャラリーが受注した中古車販売店「VERNO CARLA（バルノカーラ）名古屋緑店新築工事」や収益不動産「（仮称）浅草1丁目計画新築工事」の引渡しを行っております。また、(株)高垣組では、郡上市から受注した公共工事「八幡城天守耐震補強工事」や分譲マンション「モアグレース高蔵寺フォレストフォート新築工事」の引渡しを行っております。

以上の結果、売上高2,495百万円（前年同期比55.0%増）、セグメント利益（営業利益）72百万円（前年同期比6.3%減）となりました。

(戸建分譲事業)

戸建分譲事業では、(株)TAKI HOUSEの業績とともに、2022年10月に連結子会社となった(株)川崎ハウジングの業績が本事業に加わったことから、売上高及びセグメント利益（営業利益）は前年同期を上回ることとなりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間において79戸の新規契約、74戸の引渡しを行い、売上高2,869百万円（前年同期比178.9%増）、セグメント利益（営業利益）241百万円（前年同期比149.6%増）となりました。

(不動産管理事業)

不動産管理事業では、エムジー総合サービス(株)において、分譲マンション240棟6,283戸の管理、マンションの大規模修繕のコンサルタント2件等を手掛けております。また、2022年10月に連結子会社となった(株)ハウメンテの業績が本事業に加わったことから、売上高及びセグメント利益（営業利益）はともに前年同期を上回ることとなりました。

以上の結果、売上高175百万円（前年同期比35.8%増）、セグメント利益（営業利益）36百万円（前年同期比51.4%増）となりました。

(賃貸事業)

賃貸事業では、当第1四半期連結累計期間に(株)エムジーホームが取得したマンション用地での賃料収入が加わったことから売上高及びセグメント利益（営業利益）がともに前年同期を上回ることとなりました。

以上の結果、売上高27百万円（前年同期比28.4%増）、セグメント利益（営業利益）は13百万円（前年同期比61.1%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は26,496百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,000百万円増加いたしました。これは主にマンションの完成により販売用不動産が2,181百万円増加し、工事代の支払等により現金及び預金が1,550百万円減少したことによります。

固定資産は3,403百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円減少いたしました。これは主に(株)エムジーホームにおいて、マンションサロンを解体したこと等により建物が20百万円減少したことによります。

以上の結果、総資産は29,900百万円となり前連結会計年度末に比べ972百万円増加いたしました。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は15,156百万円となり、前連結会計年度末に比べ458百万円増加いたしました。これは主にプロジェクト資金の借入により短期借入金が増加し、税金の納付により未払法人税等が158百万円減少したことによります。

固定負債は5,201百万円となり、前連結会計年度末に比べ450百万円増加いたしました。これは主にプロジェクト資金の借入により、長期借入金が増加したことによります。

以上の結果、負債合計は20,357百万円となり前連結会計年度末に比べ908百万円増加いたしました。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は9,542百万円となり、前連結会計年度末に比べ64百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益186百万円の計上により増加し、配当金の支払により129百万円減少したものであります。

以上の結果、自己資本比率は31.7%（前連結会計年度末は32.5%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,865,403	2,314,502
受取手形、売掛金及び契約資産	1,005,240	1,042,564
販売用不動産	5,699,255	7,880,312
仕掛販売用不動産	14,192,000	14,328,969
前渡金	367,279	329,407
その他	367,210	601,239
流動資産合計	25,496,389	26,496,996
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,458,466	1,434,789
土地	1,685,850	1,651,850
その他	482,697	482,745
減価償却累計額	△1,136,634	△1,137,418
有形固定資産合計	2,490,380	2,431,967
無形固定資産		
のれん	246,585	241,407
その他	24,300	26,005
無形固定資産合計	270,886	267,412
投資その他の資産	670,105	704,101
固定資産合計	3,431,372	3,403,481
資産合計	28,927,762	29,900,477
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,797,248	2,729,289
短期借入金	7,928,145	8,653,700
未払法人税等	240,401	81,526
1年内返済予定の長期借入金	2,307,092	2,437,787
契約負債	548,004	400,630
賞与引当金	83,307	113,396
完成工事補償引当金	83,263	79,798
その他	710,907	660,291
流動負債合計	14,698,371	15,156,420
固定負債		
社債	470,800	422,800
長期借入金	3,921,945	4,416,566
退職給付に係る負債	97,019	100,357
役員退職慰労引当金	154,016	156,238
その他	106,923	105,391
固定負債合計	4,750,704	5,201,352
負債合計	19,449,075	20,357,772

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,168,021	1,168,021
資本剰余金	166,713	166,713
利益剰余金	8,078,442	8,137,610
自己株式	△23,263	△23,331
株主資本合計	9,389,914	9,449,013
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,664	27,204
その他の包括利益累計額合計	21,664	27,204
非支配株主持分	67,106	66,486
純資産合計	9,478,686	9,542,704
負債純資産合計	28,927,762	29,900,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	4,560,180	6,618,851
売上原価	3,725,158	5,567,221
売上総利益	835,022	1,051,629
販売費及び一般管理費		
役員報酬	34,485	39,506
給料及び手当	199,213	266,500
役員退職慰労引当金繰入額	3,933	3,434
その他の人件費	43,090	59,618
減価償却費	14,136	19,189
租税公課	18,333	75,387
広告宣伝費	33,798	74,373
賃借料	22,825	25,074
販売手数料	21,167	43,325
その他	83,304	113,810
販売費及び一般管理費合計	474,288	720,221
営業利益	360,733	331,408
営業外収益		
受取配当金	3,739	4,035
受取補償金	—	22,602
雑収入	27,158	6,806
その他	831	1,575
営業外収益合計	31,729	35,019
営業外費用		
支払利息	13,861	40,051
その他	1,790	4,761
営業外費用合計	15,652	44,812
経常利益	376,811	321,615
特別利益		
固定資産売却益	2,172	—
特別利益合計	2,172	—
特別損失		
固定資産除却損	—	6,640
投資有価証券評価損	—	1,106
特別損失合計	—	7,747
税金等調整前四半期純利益	378,983	313,868
法人税、住民税及び事業税	85,383	104,181
法人税等調整額	44,242	21,182
法人税等合計	129,625	125,363
四半期純利益	249,358	188,504
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,106	2,487
親会社株主に帰属する四半期純利益	247,251	186,017

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	249,358	188,504
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,440	5,539
その他の包括利益合計	△1,440	5,539
四半期包括利益	247,917	194,043
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	245,811	191,556
非支配株主に係る四半期包括利益	2,106	2,487

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	合計
	分譲マンション事業	注文建築事業	戸建分譲事業	不動産管理事業	賃貸事業	計		
売上高								
一時点で移転される財又はサービス	1,815,499	127,067	1,017,019	129,122	—	3,088,709	—	3,088,709
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	1,452,326	—	—	—	1,452,326	—	1,452,326
顧客との契約から生じる収益	1,815,499	1,579,393	1,017,019	129,122	—	4,541,035	—	4,541,035
その他の収益(注) 2	—	—	—	—	19,144	19,144	—	19,144
外部顧客への売上高	1,815,499	1,579,393	1,017,019	129,122	19,144	4,560,180	—	4,560,180
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	30,363	11,682	185	1,940	44,170	△44,170	—
計	1,815,499	1,609,757	1,028,701	129,307	21,085	4,604,351	△44,170	4,560,180
セグメント利益	267,635	77,335	96,577	24,077	8,636	474,262	△113,528	360,733

(注) 1. セグメント利益の調整額△113,528千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用106,521千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸収入等が含まれております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	合計
	分譲マンション事業	注文建築事業	戸建分譲事業	不動産管理事業	賃貸事業	計		
売上高								
一時点で移転される財又はサービス	1,429,718	107,722	2,850,281	155,825	—	4,543,547	—	4,543,547
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	2,051,327	—	—	—	2,051,327	—	2,051,327
顧客との契約から生じる収益	1,429,718	2,159,050	2,850,281	155,825	—	6,594,874	—	6,594,874
その他の収益(注) 2	—	—	—	—	23,976	23,976	—	23,976
外部顧客への売上高	1,429,718	2,159,050	2,850,281	155,825	23,976	6,618,851	—	6,618,851
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	336,456	19,075	19,832	3,100	378,466	△378,466	—
計	1,429,718	2,495,506	2,869,356	175,658	27,076	6,997,317	△378,466	6,618,851
セグメント利益	89,764	72,496	241,014	36,452	13,912	453,639	△122,231	331,408

(注) 1. セグメント利益の調整額△122,231千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用136,960千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸収入等が含まれております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。